

【16 読み下し文】

(表紙)

「第五(後筆)

扣(ひかえ)

天保二年

上野国吾妻郡吹路村宗門御改め帳

卯二月

名主 五郎助[㊦]

(中略)

一 禅宗 海圓寺[㊦]

旦那

老母

津 奈(つな)

とし七拾八才

一 同 寺[㊦]

旦那

男子

午 太郎

とし式拾二才

一 同 寺[㊦]

旦那

嫁

満 津(まつ)

とし式拾二才

一 禅宗 海圓寺[㊦]

旦那

男子孫

重 太郎

とし五才

人数合七人

内 男三人
女四人

馬式疋

一 禅宗 海圓寺[㊦]

旦那

高三石九斗九合九勺三才

勝右衛門[㊦]

とし五拾才

(中略)

家数惣合式拾五軒

人数惣合百四人

内 男五拾四人
女五拾人

馬数惣合九疋

右の通り村中耆人も残らず相改め申し候処、

疑敷(うたがわしき)宗旨(しゅうし)の者一切御座無く候、これに依り

銘々(めいめい)印形(いんぎょう)押させ差し上げ申し候、以上

百姓代 新左衛門[㊦]

組 頭 勝右衛門[㊦]

大原四郎右衛門様

名 主 五郎助[㊦]

御 役 所